

第93回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2019年8月7日（水）18:30～20:00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 22名

3 会議内容

<実施報告>

（1）伊丹の「食」を考える

- ・参加者24名
- ・1部は漫画家である倉田よしみ先生の講演を開催、人物の書き方や漫画家の生活が紹介された。
- ・2部の伊丹の食を考えるでは、伊丹産のトマトを取り上げる、伊丹の食材を使ったドレッシング・お弁当を作ってはどうか、等の意見が出た。

（2）伊丹文芸ことそうし

- ・参加者5名
- ・9月に作品集の第三段を制作予定している。

（3）園田学園女子企画 クイズ大会～絵本の世界に飛び込もう～

- ・参加者30名
- ・大学生が企画したイベントであることをもっと前面に出せば良かった。
- ・全14問の問題を、参加した子どもたちが一所懸命に取り組んでいたのが印象的だった。

（4）カエボン「夏休み」

- ・参加者3名
- ・参加者は少なかったが、夏休みをテーマに多くの作品が紹介された。
- ・今回は、8月21日（水曜日）18時30分～。テーマ「感動した小説」。

（5）手帳ワークショップ

- ・参加者16名
- ・定員を上回る参加者が集まって驚いた。近隣市からの参加者も比較的多かった。
- ・企画者自身が緊張したところもあり、全ての内容を伝えることができなかったのが少し心残り。

（6）漫画を語ろう「妖怪漫画・恐怖漫画」

- ・参加者9名
- ・妖怪、恐怖に関する様々な漫画が紹介された。
- ・遠くからの参加者もあり、漫画部の輪が広がってきているように感じる。

- ・後日、小学生の子からイベントでどんな妖怪漫画が紹介されたのか問い合わせがあった。

<新規提案>

(1) DIY 講座

【概要】

- ・これまで2回、DIY 関連講座を開催してきた。

第3弾 応急処置をDIY

- ・電気、配管、配管技術、ねじの種類、製図についての基本的な内容を伝え、日常生活で物が壊れた時の修理方法を教える。
- ・参加者の中から代表者を選定して、実際に修理をしてもらう。
- ・所要時間：2時間
- ・対象：小学生以上

第4弾 配管技術を利用した本立てづくり

- ・水道のパイプで小さな本立て作りに挑戦。
- ・材料費のみで2,000円程度かかるため、参加者負担が500円程度に抑えられる方法を検討。

【意見】

- ・図書館なので、本を利活用してほしい

(2) マタニティケア・産後ケアの重要性を知ろう

【概要】

- ・日本では産前産後ケアが普及しておらず、産前産後のケアについての講座、レッスンを行いたい。
- ・定員：10名
- ・対象：妊娠中（安定期）、産後1カ月以降（帝王切開の方は2カ月以降～）
- ・持ち物：動きやすいズボン、バスタオル
- ・プログラム：エクササイズ内容および効果についての説明→エクササイズ（ヨガマットの上で）

【意見】

- ・図書館なので、関連する本も提示してほしい
- ・定員をもう少し多くすることはできないか
→1人ひとりに骨盤底筋の場所を指導するため、多くなりすぎると待ち時間が増えてしまう
- ・ヨガマットを使わずにできる方法、椅子に座ってできるエクササイズなども導入してはどうか
- ・お父さんも参加してはどうか
- ・交流フロアでエクササイズをすることに、恥ずかしいと感じる参加者もいるので、その方たちの配慮も必要だと思う
→イベントチラシに、来館者が通るフロアで開催する旨をきちんと記載しておけばよいのでは
- ・イベント後に、茶話会のような交流会をしてはどうか

- ・より幅広い世代でも、別枠で開催できそう

(3) 大人が楽しむ絵本の読み語り

【概要】

- ・絵本の真の魅力や深さを知ってもらうために、大人向けの絵本読み語りを行いたい。
- ・日時：9月中の火曜日または金曜日
- ・絵本を持って、地声で読み語りをしたいため、定員は20名程度を想定。
- ・開催時期に合わせた絵本として「月の絵本」や、要望の多い「昔話」を題材としたい。

【意見】

- ・会社帰りの人もターゲットに入れるなら、18時以降の開催がよいのではないか
- ・「読み語り」というぐらいなので、少し長めで物語性のあるものを読んでもらうと嬉しい
- ・聞いた方が感想を話す場所・時間を作ってはどうか

(4) 宮本輝の作品を透明な葉にしよう！

【概要】

- ・宮本輝作品の「青が散る」「彗星物語」で出てくる場所や風景の写真を使った、透明な葉をつくる。それを通して、宮本輝作品に興味を持ってほしい（追手門学院大インターンシップ生による企画）
- ・葉に使用する写真の舞台の内容説明・解説などの展示も行いたい。
- ・日時：9月8日（日曜日） 時間は検討中
- ・イベント当日に、受付・呼び込み・葉づくりの説明をしてくれるボランティアを募集したい。

【意見】

- ・どのような作品なのか伝わること、読書への誘いにつながる大切である
- ・待ち時間が発生しないような工夫をしてほしい
- ・展示だけではなく、学生の言葉でシーン説明、本の説明をしてもらえれば嬉しい

(5) 阪神淡路大震災から25年 ～今も残る震災の傷跡～

【概要】

- ・今も町中に残っている震災の傷跡の情報や写真を募り、交流フロアで展示する。
- ・地震を知らない子どもや記憶が薄れてしまった方々に、展示を通して阪神淡路大震災のことを改めて知ってほしい。
- ・展示期間：2020年1月6日～1月19日

【意見】

- ・情報や写真を提供した人たちで、交流会をしてはどうか
- ・傷跡を展示するよりも、震災からのどのように復興してきたかを学ぶ内容にしてはどうか。例えば、自衛隊や交通局の方を招いて、当時どんな取り組みをして復興してきたのか講義してもらう等
- ・防災クイズという形で、子どもたちに防災について学んでもらうようにしてはどうか

【検討課題】

交流フロアはオープンな場所であり、展示を見に来た人以外の来館者の目にも入る。その中で、震災で大切な人を亡くした人や、当時の恐怖体験などを想起させ不快感を与えてしまう可能性が高いので、その配慮をどうするか？

4 次回の運営会議 2019年9月4日(水) 18:30～ 図書館ことば蔵1階交流フロア
開催希望の講座・企画があれば、ぜひ9月の運営会議にて発表ください。